取扱説明書用補足シート

ライカ IP C および IP S -

自動印字システム

取扱説明書用補足シート
ライカ IP C およびライカ IP S V 1.9 RevD 日本語版 - 05/2013
2013-01 IP C および IP S 補足シート V 1.1 RevB - 09/2013

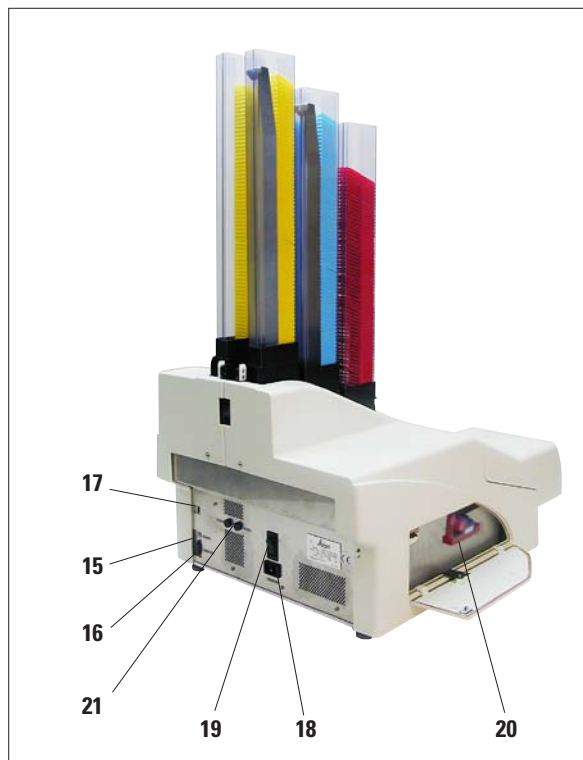
必ず装置と一緒に保管してください。
装置のご使用前によくお読みください。

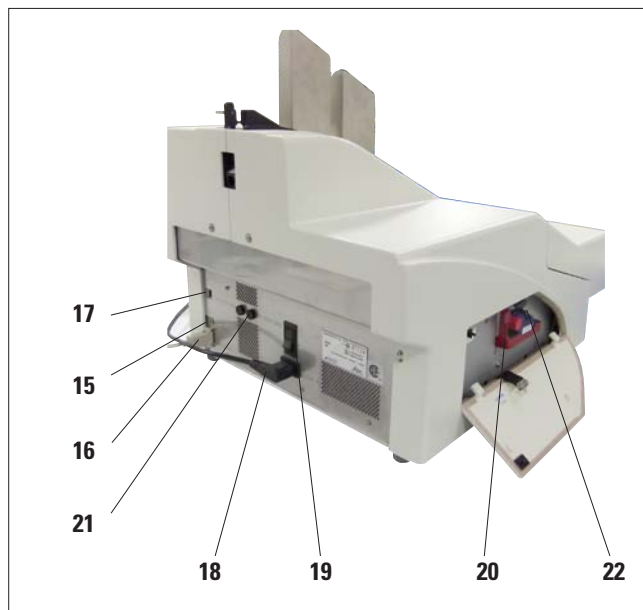
はじめに

Leica Biosystems Nussloch GmbH 製の装置は、お客様に装置を安全かつ効果的にお使いいただけるように、常に改良が加えられています。

弊社は常に製品およびその取り扱いについて改善に取り組んでおり、このたびインクカートリッジおよび搬送用タンクのロック機構を変更いたしました。

新しいロック機構の取り扱いは、IP S プリンターの使用に関する以下の情報の中で説明します。

ライカ IP C 取扱説明書の 13 ページの図 4 - 差し替え

15 - 外部アラームプラグ
16 - プリンターケーブル用ソケット
17 - DIL スイッチ
18 - 電源接続部
19 - 電源スイッチ
20 - 搬送用タンク / インクカートリッジ
21 - 二次ヒューズ

ライカ IP S 取扱説明書の 13 ページの図 4 - 差し替え

15 - 外部アラームプラグ
16 - プリンターケーブル用ソケット
17 - DIL スイッチ
18 - 電源接続部
19 - 電源スイッチ
20 - 搬送用タンク / インクカートリッジ
21 - 二次ヒューズ
22 - 破損ガラス用待機槽

以下は、搬送用タンク/インクカートリッジの交換に関して、ロック機構の変更された取り扱いを説明したものです。交換については、「4.9 章 カートリッジの交換」および「6.4 章 プリンターの保管」の章に説明があります。上記の章のその他の説明と作業については、取り扱いの変更による影響はありません。

120 ml の搬送用タンク/クリーニングカートリッジの使用に関する情報 - ライカ IP C/S

搬送用タンクの取り外し/取り付け

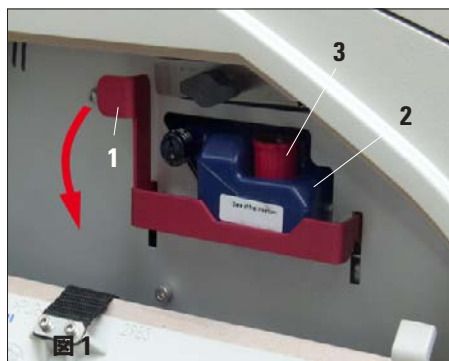



図 1

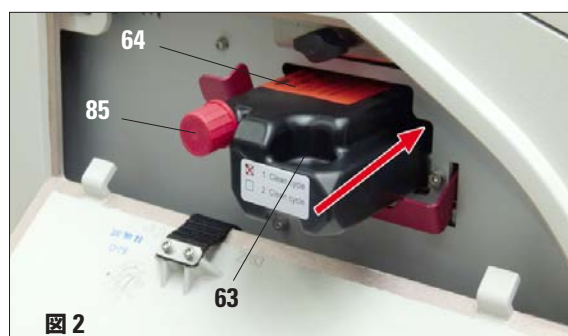



図 2

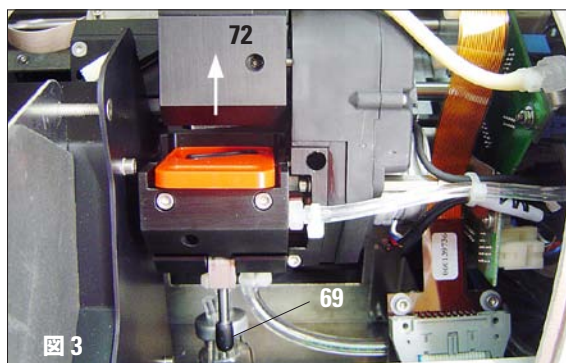
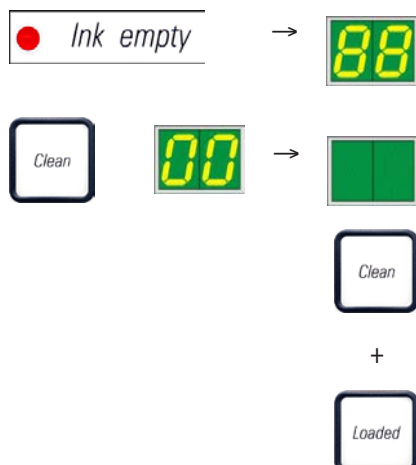



図 3

工場出荷時にはプリンターに搬送用タンクが取り付けられています（取扱説明書の 4.9 章も参照）。プリンターの使用を開始する前に、この搬送用タンクをインクカートリッジと交換してください（標準付属品を参照）。取扱説明書の 4 章 装置のセットアップも参照してください。

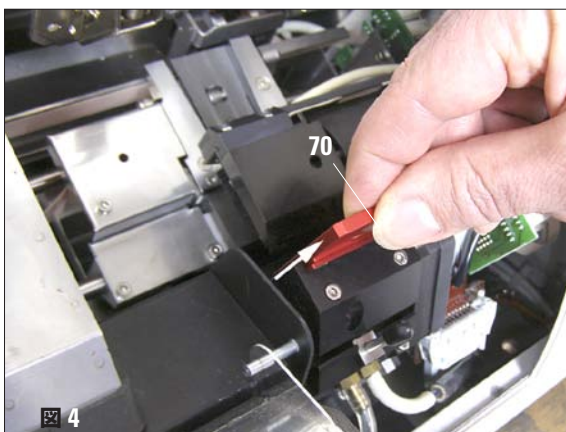
搬送の場合、またはプリンターを電源から長期間（24 時間 ～ 6 ヶ月間）外しておく場合は、搬送用タンクを取り付ける必要があります。交換の手順は以下の通りです。

- プリンターの左側のドアを開け、赤の保持ブラケット（**1**、図 1）を下に押し、インクカートリッジ（**2**、図 1）を約 30 mm、「**Ink Empty**」LED が点灯するまで引き出します。
- 赤の保護キャップ（**3**、図 1）をインクカートリッジの収納部から取り出し、カートリッジにねじ込みます。その後、インクカートリッジを取り外します。
- ダンボール箱から搬送用タンクを取り出し、保護フォイルを剥がしてからタンクをカートリッジスロットに半分ほど挿入します（図 2）。
- 赤の保護キャップ（**85**、図 2）を 1 回転緩め、タンクを奥まで押し込みます。シールが破れるまで 2、3 回押し込んでください。
- 搬送用タンクを完全に押し込み、赤の保持ブラケット（**1**、図 1）が正しい位置にあるか点検します。
- 赤の保護キャップ（**85**、図 2）を外し、タンクに設けられているキャップ専用の収納部（**63**、図 2）に取り付けます。
- 搬送用タンクが確実に 2 回しか使用されないようにするため、タンク正面の 2 つのボックスのひとつにマークを付けます。
- プリンターの左側のドアを閉めます。

→
→
+
- **「Ink Empty」**が消え、「**88**」がディスプレイに表示されます。
- **CLEAN** を押し、印字ヘッドをクリーニングします（時間:約 3.5 分）。-「**00**」がディスプレイに表示されます。クリーニングプロセスが完了すると、表示が消えます。
- フードを開き、**CLEAN** と **LOADED** ボタンを同時に押します。
- これらのボタンを押すと、印字ヘッドが上方に移動して、ロケーションプレート（**70**、図 4+8、図 3）から離れます。
- ロケーションプレートを外せるように、レバー（**69**、図 3）を押し上げます。

搬送用タンクの取付け（続き）

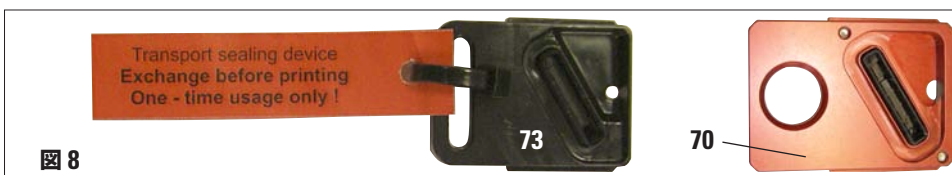
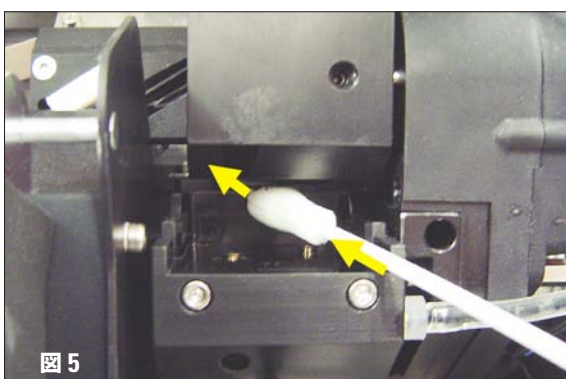
- 赤のロケーションプレート（**70**、図 4+8）を外し、それをアルコール（95 % ～ 100 %）でクリーニングします。
- 印字ヘッドをアルコール（95 % ～ 100 %）と付属のクリーニング綿棒でクリーニングします（図 5）。綿棒を印字ヘッドの下に押し込み、わずかに圧力をかけながら（印字ヘッドに対し）持ち上げ、下部の右側から上部の左側まで（シールリップに沿って）動かします。上まで移動するたびに綿棒を少し回転させます。
- 次に新品の黒の搬送用ロケーションプレート（**73**、図 8）を挿入し、奥まで押し込みます。
- 小さいレバー（**69**、図 3）を押し下げて、搬送用ロケーションプレートを固定します。
- 印字ヘッドを閉じるために、どれかボタンを押します。

ボタンを押してもプレートの交換が終了しない場合は、2.5 分後にプリンターが自動的に印字ヘッドを閉じます。自動的に閉じる前に信号音が 30 秒鳴り、ディスプレイ上にカウントダウンが表示されます。印字ヘッドの損傷を防ぐため、このタイミングで搬送用ロケーションプレートを挿入することは避けてください。印字ヘッドが閉じるまで待ってから、操作を繰り返して搬送用ロケーションプレートを挿入してください。

図 4

- プリンターフードを閉じます。
- 赤のキャップ（**85**、図 2）を搬送用タンクに締め付け、プリンターのサイドのドアを閉めます。

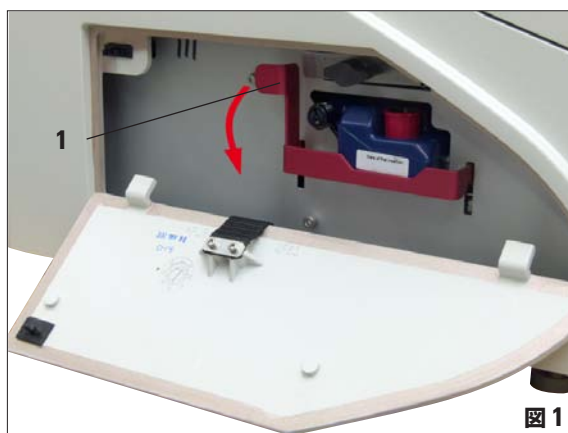
印字ヘッドの損傷を防ぐために、プリンターをオフにして、電源からプラグを抜き取ります。プリンターを再び使用する際には、搬送プレートを取り外して、新品の交換プレートを取り付けます。インクカートリッジの取り付けについては、装置の正面にある「簡易説明」を参照してください。

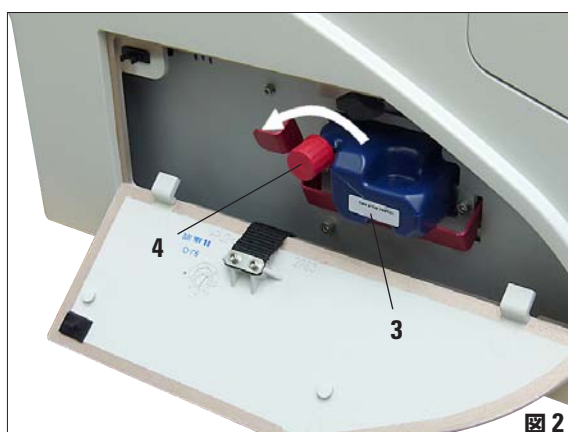
図 5

図 8

310 ml のインクカートリッジの使用に関する情報 - ライカ IP C/S

以下は、取扱説明書の「4.9 章 カートリッジの交換」に記載されているインクカートリッジの交換に関して、ロック機構の変更された取り扱いを説明したものです。上記の章のその他の説明と作業については、取り扱いの変更による影響はありません。

図 1

図 2

本書ではインクカートリッジの取り付け方法を、IP S プリンターを例に取って示しています。IP C プリンターでもこの取り付け方法を用います。

インクカートリッジは 3.5 ヶ月後、または 60,000 字のプリントアウト後に交換してください。インクカートリッジ正面の白い部分に、インクカートリッジを取り付けた日付を記入してください。

使用中のインクカートリッジの取り外し

- プリンターの左側のドアを開け、赤の保持ブラケット（**1**、図 1）を下に押し、インクカートリッジ（**3**、図 2）を約 30 mm、「Ink Empty」LED が点灯するまで注意しながら引き出します。
- 赤の保護キャップをインクカートリッジの収納部から取り出し、カートリッジにねじ込みます。その後、使用中のインクカートリッジを取り外します。

新品のインクカートリッジの取り付け

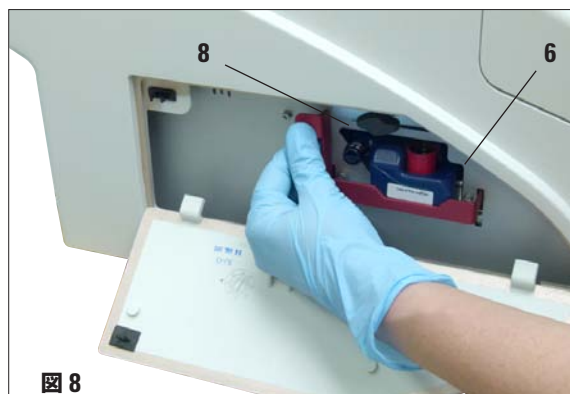
- 梱包用の箱から新品のインクカートリッジを取り出し、プラスチックのパッケージを取り外します。
- インクカートリッジを慎重に 2、3 回振ります。
- 赤の保持ブラケットを前に引き、新品のインクカートリッジを半分ほどスロットに挿入します（**3**、図 2）。

新品のインクカートリッジの取り付け（続き）

図 3

インクカートリッジに添付されているフラグの情報に従ってください（下の図を参照）。

- 赤の保護キャップ（**4**、図 2）を反時計方向に 1 回転させて開きます。
- 次にインクカートリッジをスロットに完全に挿入します。

カートリッジシールを破るには、ある程度の力を加える必要があります。インクカートリッジをスロットから約 30 mm 引き出し、奥にいっぱいまで押し戻します。これを 2、3 回繰り返します（5、図 3）。

情報フラグ

赤の保護キャップの取り外し

- 赤の保護キャップを完全に緩め、情報フラグを取り外し、赤の保護キャップをインクカートリッジに設けられた専用の収納部に取り付けます（**6**、図 8）。
- その後、赤の保持ブラケットが正しい位置にあること（**8**、図 8）を確認し、プリンターのドアを閉めます。

図 8

新品または使用中のインクカートリッジが装置内にあるときには、決して CLEAN ボタンを押さないでください。

ロケーションプレートの取り外し

- 手順（図 9）は、取扱説明書の 6.2 章を参照してください。

図 9

ロケーションプレートの取り付け

- 手順は、取扱説明書の 4.9章と 6.2 章を参照してください。

図 10

印字ヘッドの手動クリーニング

- 手順（図 10）は、取扱説明書の 6.2 章を参照してください。